

この度、平成27年から9年間、当協会の発展に多大な貢献をされた佐藤均前理事長の後を引き



兼 森 裕

新理事長あいさつ

歴史と伝統ある当協会のかじ取り役にご選任いただき、身に余る光栄であるとともに、責任の重大さに身の引き締まる思いです。公衛協をはじめとして、当協会の運営にご尽力をいただきました皆さまに、感謝申し上げます。

現在、地域社会は、人口減少と超高齢化社会の到来、過疎化

の進行、災害の多発など、数々の問題を抱えており、当協会の役割はますます大きくなってまいります。今後とも『みんなの生命(いのち)をまもりつづけたい。』の基本理念のもと、公衛協の皆さまとともに、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、地域社会の発展に全力で取り組んで参ります。

今後とも、ご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

沼田川源流に『かんほきょうの森』 東広島市森林(もり)づくりパートナー協定を締結



東広島市森林づくりパートナー協定締結式。左から宮本東広島市竹仁財産区管理会長、高垣東広島市長、佐藤前理事長、川口賀茂地方森林組合代表理事組合長

当協会は、第2次経営ビジョンで掲げた新領域事業を具体化するため、東広島市福富町上竹仁の森林において『かんほきょうの森』づくりに取り組みます。

5月22日、対象となる森林を借り受け円滑な事業運営を図るため、東広島市本庁舎において「東広島市森林(もり)づくりパートナー協定」を締結しました。

この度の協定は、企業と森林所有者、森林

組合が連携して森林整備を推進する東広島市の制度を活用したもので、東広島市の高垣廣徳市長、竹仁財産区管理会長の宮本隆会長、賀茂地方森林組合の川口洋海代表理事組合長、当協会の佐藤均理事長の四者が参加して締結しました。協定期間は、2034(令和16)年3月までの10年間です。

新たな価値の創出へ

当協会が森づくりに取り組む目的は、長年水質検査やまちづくりなどに携わってきたことから、水源涵養を基軸とした多面的機能の向上を図り、地域社会の発展に貢献することです。このような目的を果たす場所として、沼田川の源流にあたり、多様な植生があるこの地域を選定しました。

今後は、各センター

のノウハウを最大限活用し、生態系の維持や森林の新たな価値を生み出すことに挑戦します。『かんほきょうの森』は、環境学習プログラム



『かんほきょうの森』は東広島市福富町に位置する

ムや森林セラピーの拠点、地域観光資源との連携イベントなど、さまざまな可能性を秘めています。

まずは、過去と現在の状況を把握した上で、将来を予測し、どのようなことに取り組むかを描くことから始めます。併せて、現状では簡単に人が立ち入らないことから、遊歩道などの環境整備にも取り組みます。当協会の新たな取り組みにご期待ください。

(経営企画課 山下 祐治)

みんなの琴線歌

私たちの生活から出るプラスチックごみのうち、海岸で確認されるものはペットボトルが最も多く、年々減少傾向にあるものの、年平均で約2・1トが県内海岸に漂着した状態にあります。海岸のペットボトルは、どこから流れてくるのかかわかりませんが、私たちが消費したものが何らかの原因で海洋に流出したことは間違いなく、しよつペットボトルは、軽量・丈夫で持ち運びが楽、繰り返しキャップができるなど、安全・便利な容器で、1996年に小型サイズが解禁され一挙に広まりました。2022年度の容器販売量は58万ト、販売本数は254億本で、一人あたり年間200本以上を消費している計算になります。一方で、リサイクルも進められ、2022年度のリサイクル率は87%で、再びペットボトルに戻す比

海岸のペットボトルはどこからくるのか

率も29%に上昇しています▼こうした取り組みは年々加速していますが、依然としてペットボトルが海岸に漂着しています。家庭で飲んだペットボトルをわざわざ投棄する可能性は低く、ポイントは屋外での消費ではないかと考えています。これから本格的な夏を迎え、野外レジャーの機会が増えてきます。屋外でペットボトルを消費した際は、海洋ごみにならないよう、管理された回収ボックスやごみ箱を利用するか、家庭ごみとして適切に処理することが大切です。また、マイボトルの使用に加え、今後は、容器の材料を、紙やアルミ、バイオ素材などに置き換えていくことも必要です。身近なペットボトルのライフサイクルを通じて、海洋プラスチックごみ問題を考える契機としていただくとお願いいたします。

(広島県環境県民局 環境担当部長 岡田 誠司)



一般財団法人 ～みんなの生命をまもりつづけたい～
広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)
TEL:082(293)1511 [大代表] FAX:082(293)1520

基本理念

みんなの生命(いのち)をまもりつづけたい。
私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、持続可能な社会の発展に貢献します。

かんほきょう 検索

